2017年
冬号

（社）日本アタッチメント育児協会 会員さま向け会報誌

アタッチメント・ライフ

第7回 育児セラピスト全国大会in2016 報告号

CONTENTS

1 はじめに

シンポジウム

2 開会式
「脳とこころとカラダを遊ばせましょう！」

3 **優秀実践者表彰式・実践発表**

【東京会場】

4 保育・幼児教育部門　安原 マヤさん
「わが子の成長のために学んだ知識とスキルは、子育て支援で活かされる」

5 アタッチメント教室部門　加藤 響子さん
「起業としてのベビーマッサージ教室を実現したママの成功物語」

6 子育て支援部門　西鷹 直美さん
「体操の先生が、心の教育を身に付けて展開する、人間教育としての体操教室」

【大阪会場】

7 保育・幼児教育部門　寺下 悦子さん
「『思い』と『好奇心』と『欲求』が創りだす、人生第二ステージの生きがい」

8 アタッチメント教室部門　植戸 真紀さん
「8 年間のキャリアを通して生まれたリピート率 9 割の教室運営の秘訣とは？」

9 子育て支援部門　鎌田 怜那さん
「臨床心理士から見た『アタッチメント・ベビーマッサージ』とは？」

10 2016 年 活動報告のご紹介
高砂 真希子さん／木原 まりさん／大山 ありささん／西島 聖美さん／河内 宏美さん／中山 恵さん
本郷 容子さん／明田 瑠美さん／本郷 美保さん／吉田 恵子さん／緑川 美穂子さん

14 ランチミーティング
尊敬する人に会う、懐かしい人に会う、新しい人と出会う

15 グループワーク「キャッチコピーで人を集めよう」
人が集まるチラシ作りの極意

19 **公開教室**

ベビーマッサージだけじゃない！ 0 歳の遊びと運動
19 **ベビー親子教室**
島田 恭子先生（東京）権 かおり先生（大阪）

脳もこころもカラダも、ぜ〜んぶ豊かに育てる秘訣
20 **キッズ親子教室**
早川 貴子先生（東京）熊谷 れい子先生（大阪）

マタニティだからできる！「つながる」という神秘の体験
21 **アタッチメント・ヨガ**
大塚 一恵先生（東京）（大阪）

意外と知らない！親が本当に知っておきたい子育てのための食育
22 **アタッチメント・食育**
権 かおり先生（東京）（大阪）

スキルアップ研修

23 **プレスクール・あそび発達インストラクター養成講座**

26 スタッフ あとがき

主催：一般社団法人 日本アタッチメント育児協会
後援：学校法人 大乗淑徳学園 淑徳大学 短期大学部
学校法人 関西女子学園 宝塚大学
協力：株式会社ハッピーチャイルド

はじめに

今年も、昨年に続いて東京と大阪の 2 会場で全国大会を行いました。不思議なもので、東京と大阪では、それぞれ会場の雰囲気が全く違います。それは、参加者の地域性による「場の特徴」のようなもので、ご想像の通り、東京はスマートな空気が流れており、大阪は和気あいあいとしてくだけた空気でした。どちらの空気も、とても心地よく刺激的で、好ましいものでした。会場に来て下さった方々、ステキな空気をありがとうございました。来年も、ぜひお会いしましょう。

（社）日本アタッチメント育児協会
代表理事　廣島　大三

【東京】淑徳大学 会場

【大阪】宝塚大学 会場

シンポジウム

開会式

今年で 7 回目となる育児セラピスト全国大会ですが、今年のテーマは

「あそびをまなぶ」
～脳とこころとカラダの遊ばせ方～

でした。幼児教育や早期教育がブームの兆しを見せている今だからこそ、真面目にその本質と向き合いたいテーマです。

今回「あそび」というものを、3 つの本質的な切り口から捉えてみました。1 つ目は、その語源「悠（ゆう）」という字から来るものです。「悠」は本来「禊（みそぎ）で清められ心がゆったり落ち着く様子」から「余裕がある」といった意味を持っています。2 つ目の切り口は、「無目的で意味のない活動」という定義です。確かに、「あそび」に目的を持たせてしまうと、もはや遊びではなくなってしまいます。3 つ目は、「あそび」の本質を表す「心を満足させる、楽しくワクワクする営み」という切り口です。

1. **ゆったりして、余裕がある**
2. **無目的で意味のない活動**
3. **心を満足させ、楽しくワクワクする**

ところで、全国大会の前日には、毎年恒例のスキルアップ講座において、新しい講座を発表させていただいております。今年は「プレスクール・あそび発達 インストラクター養成講座」でした。その講座のメインテーマをひと言で表現すると

『子どもをどう遊ばせるかで、その子の将来の幸せ度は決まる』

というセンセーショナルな言葉にまとまります。これは、私が勝手に言っている事ではありません。ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマン博士による研究結果によるものです。ここで、大事なのは「どう遊ばせるか」というところです。同じことをしても、遊びが「あそび」でなくなったりするわけですから、コトは簡単ではありません。

さて、最近の子どもは、遊べているのでしょうか？

この問いに対しては、前日の「プレスクール・あそび発達」を受講した保育士さんの嘆きを思い出します。

「最近のお母さんは、『遊び』はいいから、もっと『学び』になることをしてください、とおっしゃいます。『遊び』こそが、一番の『学び』なのだとお伝えしても、聞く耳を持ってくれずお勉強的なものを期待されてしまいます。」

そうです、答えは「遊べていない」のです。「遊ぶことを許されていない」と言った方が正しいかもしれません。「どう遊ばせるか」は、人生の幸せ度を左右するというのに。その保育士さんの言うとおり「遊びこそが学びである」のであって、もっと言えば『すべての学びは、遊びから生まれる』わけです。

今日の全国大会では、

「脳」を無目的に使い
「こころ」を楽しくワクワクさせて
「カラダ」に余裕をもって

子どもに帰って、脳とこころとカラダを遊ばせましょう！
そして、遊びから生まれる学びを受け取りましょう。

優秀実践者表彰式・実践発表

年々レベルが高くなり、その活動も多様で様々になっている優秀実践発表ですが、今年もとても勉強になる発表がたくさん聞けて、大いに刺激をもらいました。集客ひとつをとっても、SNS を駆使した最新の方法から、口コミと紙印刷のかわら版を使った昔ながらのやり方まで、いずれも十分に集客できている事例です。また、自宅教室から、保育園、子育て支援センター、児童館に体操教室まで、様々な場所が舞台となっていました。発表者も保育士に体操の先生、女性起業家に臨床心理士と、いろんな方の発表を聞くことが出来ました。これらの発表は、どれも掛け替えのないものであり、皆さんの参考にしていただけると思います。そして、このような素晴らしい発表の数々が毎年聴けるのは、日本アタッチメント育児協会ならではだと、心から思った次第です。

- アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター
- アタッチメント・ヨガ (for マタニティ＆ベビー) インストラクター
- アタッチメント・食育 インストラクター
- アタッチメント・キッズマッサージ インストラクター
- アタッチメント・ジム インストラクター
- ベビーキッズ・あそび発達 インストラクター
- プレスクール・あそび発達 インストラクター
- 育児セラピスト 前期課程（２級）
- 育児セラピスト 後期課程（１級）
- 育児セラピスト シニアマスター

【東京会場】優秀実践者の皆さん

【大阪会場】優秀実践者の皆さん

東京会場

保育・幼児教育部門

記事の全文は、廣島大三のブログよりご覧いただけます。
https://www.naik.jp/blog/director/archives/362/3

安原マヤさん　保育教諭（愛知県）

取得資格

「わが子の成長のために学んだ知識とスキルは、子育て支援で活かされる」

安原さんは、愛知県豊橋市の幼保連携型認定こども園「明照保育園」の保育士さんです。活動は、こども園の子育て支援事業として、「ベビーマッサージ」に「キッズマッサージ、アタッチメント・ジム」、「アタッチメント・ヨガ」、そして昨年からは「あそび発達」も始められました。

長女が生まれて出会ったベビーマッサージ「これを私も伝えたい」

最初のきっかけは、第一子の長女の誕生がきっかけだったそうです。育休中に長女と参加したベビマ教室が、とにかく楽しくて、ベビマに夢中になり、「これだ！」「これを私も伝えたい！」という思いからアタッチメント・ベビーマッサージ　インストラクター養成講座を申し込み、インストラクター資格を取得すると、ご自身が働く認定こども園で、ベビーマッサージ教室を始めました。

やがて、子どもの成長と共にベビーマッサージ卒業の年齢になってくると、お母さんたちから、「もっと続けたい」という声をもらうようになりました。そこで、安原さんは、すぐにアタッチメント・ジムとキッズマッサージのインストラクター資格を取り、1歳を過ぎた子どもたちのための教室を開きました。

妊娠中、おなかの中の次女と「つながる」体験が出来たアタッチメント・ヨガ

安原さんは、第二子を授かったタイミングで「アタッチメント・ヨガ（マタニティヨガ）」に出会いました。そしてマタニティヨガの重要性を実感し、アタッチメント・ヨガ　インストラクター資格を取得し、早速アタッチメント・ヨガ教室を開きます。

こうして、安原さんは、3つの教室を運営し、産前から産後、そして幼児期に至るまでの切れ目ない子育て支援を提供するまでになりました。これらの3つの教室は、地域のお母さんたちの拠り所となり、就園年齢になると、その子どもたちが明照保育園に入園する、という理想的な流れがやがて出来ていったそうです。

「人が人を呼び、園児が集まる」これからの子育て支援のあるべき形

この好循環は、いま全国各地で起こっている現象です。子育て支援におけるベビーマッサージなどの各種教室が、地域の就園前の親子を呼び、教室で関係性ができることで、教室に通った子どもたちは、その園に入園してくれるのです。私は、

実はこの流れが、これからの子育て支援と子ども園や保育園の運営における「型」になっていくと思っています。園が園児を集めるのではなく、お母さんが園を選ぶのでもない。「関係性を通して園（先生）とお母さんがつながる」型です。

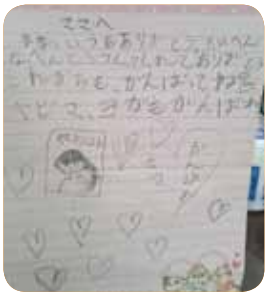
理想の幼児教育を子育て支援の現場で実現したい

安原さんの活動はさらに精力的に続きます。その後「あそび発達インストラクター養成講座」を受講し、さらに活動の幅を拡げました。これは、第二子の次女に実践するのと同時に、保育士として幼児教育を提供してみよう、という思いから始めたそうです。普段から毎日のように子どもと遊んでいる安原さんですが、「そうした日常の『遊び』を『幼児教育』の理論と結び付けて伝えることには、大きな意義がある」と言います。現在では、この「あそび発達教室」も柱の一つとなっています。

母の思いは、子育て支援を通して地域のママたちに広がる

安原さんの最初の動機は、母親としての好奇心や親としての思いでした。そこから始まって、今度は自らが学んだことを、子育て支援の場に持ち込み、教室という形で他のお母さんたちと学びを共有する仕組みを作りました。それは、安原さんが、よりよき母親になるためのステップであり、保育士としてのスキルアップでもあり、さらに保育園にとっての地域貢献でもあり、そして最終的に、お母さんたちにとっての子育て指南、子育て支援となっています。

制度としての子育て支援だけではなく、こうした「ひとりの人の個人的な思い」が地域に広がる形で成立する子育て支援が、これからは、もっともっと拡がってほしいと、安原さんの活動を見て感じます。



東京会場

アタッチメント教室部門

記事の全文は、廣島大三のブログよりご覧いただけます。
https://www.naik.jp/blog/director/archives/362/4

加藤 響子さん　イラストレーター（千葉県）

取得資格

「起業としてのベビーマッサージ教室を実現したママの成功物語」

3歳の娘さんの子育てをする現役ママの加藤さんは、起業という形でベビーマッサージ教室を運営する経営者です。これまでも、イチからベビーマッサージ教室を立ち上げた事例はたくさんありました。加藤さんの事例は、そうした事例の中で、起業としてのベビーマッサージ教室に成功した事例と言えます。

教室を始める際に行った加藤さんの行動は起業家らしい一面が見て取れます。加藤さんはこの事業専用の空間として、アパートを1室借りることにしたのです。これは、なかなか覚悟のいる決断だったことと思います。家賃は、売上に関係なく毎月必ずかかってきますから、売上を上げ続ける覚悟が必要なわけです。

ビジネスの王道「集客とリピート」を実践

では、いよいよ加藤さんのベビマ教室が上手くいっている要因を見ていきましょう。私が発表をお聞きしていて最も感心したのは、加藤さんの事業は、ビジネスの基本を押さえ、さらにビジネスモデルとしてきちんと成立しているという点でした。

ビジネスというのは、「新規集客」＋「リピート需要」です。ビジネスを長く安定させるには、いかにしてリピート客を増やすかです。具体的に言うと、「見込み客」→「顧客化」→「リピート」という流れです。

まず、見込み客と新規集客に関しては、SNSを非常に巧みに活用されています。その筆頭は、ブログでしょう。もともとイラストレーターだった加藤さんは、日々の育児の様子を記録した育児ブログを立ち上げました。

ブログで共感してくれた人たちがファンになって、教室に来てくれる

このブログを、とにかく毎日更新しています。ブログというのは、自分と似た価値観の人がファンになってくれて、読者になってくれます。この「ファン作り」は、ビジネスに言い換えれば「見込み客開拓」です。このブログに、ベビマ教室やさまざまなイベントを告知すると、読者のファンの方が反応して参加してくれる流れが出来ます。ファンになってくれた方たちなので、少々遠い場所でも足を運んでくれます。つまり、ビジネス用語で言うと「商圏を広く取れる」ということで、これが成立するととても有利な戦略となります。

この毎日更新のブログ投稿記事を、Facebookやツイッターなどを使って、さらに拡散させることで、見込み客と新規客を獲得しています。

生徒へのプレゼントが、同時にプロモーションに！

次にリピートです。加藤さんのベビーマッサージ教室には「また来たい」と思わせる施策が、きちんと施されています。加藤さんの教室では、いろいろなカワイイシチュエーションを作って、赤ちゃん写真を撮ってあげています。

こうしたちょっと特別な写真を撮って、データをプレゼントしています。それと同時に、ブログに教室の様子としてアップします。お母さんは、わが子の記念写真がもらえて、さらに、自分がファンとしていつも読んでいるブログにわが子が掲載されるので、ダブルでうれしいわけです。これが、参加満足度を格段に引き上げ、リピートを生むわけです。実際、加藤さんの教室のリピート率は80%だそうです。これは、通常のビジネスで言うと、驚異的な数字です。

策を関連付けて回すと、ビジネスモデルになる

しかし、加藤さんの教室の一番の成功要因は、ブログとか、赤ちゃん写真といった、個々の取り組みそのものではありません。一つ一つの施策が、ビジネスモデルとして相互作用して回っていることです。加藤さんの報告から学んでいただける一番のポイントは、まさに「やっている施策が、関連し合って回っているかどうか」だと言えます。

記事の全文は、廣島大三のブログよりご覧いただけます。
https://www.naik.jp/blog/director/archives/362/5

東京会場

子育て支援部門

西鷹 直美さん　体操教室講師（埼玉県）

取得資格

「体操の先生が、心の教育を身に付けて展開する、人間教育としての体操教室」

西鷹さんは、スポーツクラブで、ジュニアの体操選手の育成から、1歳児から80歳の方までの一般の方のための体操教室まで幅広く体操を教える先生をされて30年のベテランで、自らも体操選手として活躍されていた経歴の持ち主です。

心が不安定なお母さんと、運動に違和感を感じる子ども

そんなプロの体操の先生である西鷹さんが、ここ数年感じてきたのは、「親子の心を育てること」の大切さだったそうです。

というのも、最近の傾向として、子育てで何を大切にしたら良いか、子どもとどう接したらよいのか、といったことがわからなくて不安を抱いているお母さんが増えてきていると感じることが多くなってきているそうです。同時に、子どもたちも、これまでには見られなかったようなビックリ事例がみられるようになっているそうです。例えば、だっこやおんぶで、自力でお母さんにしがみつくことが出来ない子や、迫るボールに反応できず、手も足も動かず、声も出ない子など。こうした子どもに起こる変化と、最近の母親の不安定さとは、どうも無関係ではないと、直感的に感じていたそうです。

そうした中で、西鷹さんは、子どものこと、親のこと、育児のことを、イチからきちんと学んでみようと思い立ち、育児セラピスト 前期課程（2級）と、アタッチメント・ベビーマッサージを受講し、続けて、育児セラピスト 後期課程(1級)を受講したそうです。そして、さらに、これまでやってきた体操を、親子のアタッチメントの営みとして学び直すために、アタッチメント・ジム、キッズマッサージを受講しました。

直感に理論の裏付けが付いて、はじめて見えてきた新たな価値

いざ講座で学術背景を学んでみると、自分が直感的に感じていたことに、理論の裏付けが付き、何となく思っていたぼんやりした思いが、明確な言語として理解できたのを感じたそうです。例えば、自力でお母さんにしがみつくことが出来ない子どもは、抱っこされたり、おんぶされたりした体験が少ないまま大きくなってしまった。迫るボールに対応できない子どもは、その子が、ゲームばかりやっていたことと関連付き、現実の動くモノで遊んだ経験が乏しかったため、体も脳も反応できなかったのではないか。こうした親子関係の貧弱さから生じる問題は、子どもの発達を阻むだけでなく、母親の精神の不安定性という問題もはらんでいることを知りました。そうしたことが、言語化して理解できたとき、西鷹さんのこれからの体操の先生としての新しい方向性が見えてきたそうです。

「体操させる」教室から、「いっしょに楽しむ」教室へ

西鷹さんは、早速、体操クラブのそれぞれの年齢のクラスのカリキュラムで、ベビーマッサージやキッズマッサージ、アタッチメント・ジムを導入し、さらに、お母さんの悩みを聞いてあげるカウンセリングを取り入れました。

そして、子どもだけに体操をさせるのではなく、親子で体操を楽しむスタイルに変わりました。例えば、自分の体を自分で支えられるようになるためには、鉄棒を練習するよりも、「ママ鉄棒」で、ふれあいながら、お母さんに助けてもらいながら身に付けます。

こうした親子体操を導入してからは、跳び箱や鉄棒への移行が、よりスムーズになったそうです。

また、お母さんの悩み相談を聞いてあげる際には、カウンセリング手法を学んだおかげで、適切にアドバイスすることが出来て、お母さんが元気になっただけでなく、お子さんの表情や行動も変化したそうです。

心の教育　＋　体操教室　＝　人間教育

いま西鷹さんは、体操を通して親子のアタッチメントを育み、自分を守る基本動作の習得や運動の礎を作ってあげる指導者になりたい、そんな心の教育が出来る体操の指導者でありたい、と決意を新たにしているそうです。

西鷹さんの事例が教えてくれるのは、直感的にわかっていることや、体でわかっていること、何となくの思い、そうしたものに理論が身につけば、さらに大きな価値を生むことが出来るということです。体操の先生が、「心の教育」という視点を身に付けたことで、体操は、人間教育そのものにまで昇華されます。

大阪会場

保育・幼児教育部門

記事の全文は、廣島大三のブログよりご覧いただけます。
https://www.naik.jp/blog/director/archives/362/6

寺下 悦子さん　保育士・主任児童委員（福井県）

取得資格

「『思い』と『好奇心』と『欲求』が創りだす、人生第二ステージの生きがい」

寺下さんは、福井県敦賀市で 30 年間保育士をした後、引退して現在は、地域の主任児童委員、県の子育てマイスターとして活動しながら、ベビーマッサージ教室「はっぴぃクローバー」を運営されています。

30 年の保育士経験から感じる懸念、それに対して「何かしたい！」

「アタッチメント・ベビーマッサージ講座」を受講したのは、2010 年のことでした。そのきっかけは、寺下さんの 30 年の保育士としての経験の中で感じたある思いだったそうです。それは、「親子関係が薄くなってきている現状への懸念」と、それに対して、「保育士を 30 年間続けてきた自分に何かできることはないか」という思いでした。

好奇心とやりたい気持ちで、自然と形になっていったベビマ教室

インストラクター資格を取得した後、「せっかく学んだことを還元したい！」という思いと、「ママとベビーの実際の反応を見たい！」という好奇心と欲求から、知り合いの現役ママに頼んで、ベビーマッサージを実践させてもらったそうです。その後、そのママがさらに友達を呼び、数人のベビマ教室の形となりました。その後、一般のママたちも募集するようになり、今の「はっぴぃクローバー」の原型となりました。

ほんの小さな「はじめの一歩」を踏み出すだけで、多くのことは成就する

ここで、我々の学びとなるのは、地域に根差したベビーマッサージ教室を 5 年以上やってこられている寺下さんですが、実は、その「はじめの一歩」は、「一人の知り合いのママに、ベビマをやらせてもらった」というカジュアルな行動だったということです。そのママからほかのママ友へ、そして一般のママへと広がり、今では、自宅教室だけでなく、児童館や子育て支援センターまで活動の場は広がり、地域になくてはならないベビーマッサージ教室に成長していいます。結果を先に見ると、すごいことですが、「はじめの一歩」は、ほんの少しの勇気があればできる小さな行動だったのだということがわかります。

リピートとクチコミのみで人が集まる秘訣

さらに、寺下さんの発表には、教室運営に関しても、参考になることがたくさんありました。寺下さんの教室運営は、リピートとクチコミと生徒さんの満足をもらうための秘訣がたくさん詰まっています。実際、「はっぴぃクローバー」でチラシをまいたのは、最初の体験教室の 1 回のみで、その後は、すべてリピートとクチコミだけで、人が集っているそうです。これは、ベビーマッサージ教室としては、理想形の一つと言えますが、その秘訣をご紹介します。

満足の気持ちが、もっと大きく深い満足になる「魔法の紙」

寺下さんは、教室が始まる前に、「ママのきょうの気持ち」を書いてもらうための用紙を用意しています。これは、生徒さんにとっては、先生への「子育てプチ報告」になっています。自分の子育てを言葉にすることによって、子どもの成長を実感し、それを

先生に報告して共有することができます。寺下さんは、これを一人一人丁寧に読んでいるそうです。そうして、一人一人のママの様子を把握して対応します。あえて「書く」という行為を通して、文字だから言えること、気付ける気持ちを引き出しています。先生とのこのやりとりは、「来てよかった！」「先生ありがとう！」という気持ちに膨らましてくれて、リピートにつながります。その気持ちは、さらにクチコミにもつながり、ママがママを呼んできてくれる流れを作ります。

手間がかかっているからこそ生まれる、心からの喜びと感謝

次に、写真の活用です。ママたちがベビーマッサージをやっているときの写真を撮り、ブログに上げて、教室の皆さんで共有しています。この効果は大きいです。というのも、参加したママのお友達も、ブログでこれらの写真を見ているからです。こうした実際の場の写真は、大きなクチコミ効果があります。さらに、寺下さんは、1 歳になってベビーマッサージを卒業するママ一人一人に、これまでのベビマ教室での思い出の写真で「卒業アルバム」を手作りしてプレゼントしているそうです。これは、ママたちにとっては、涙が出るほど嬉しいことと思います。その証拠に、「はっぴぃクローバー」を卒業後も、多くのママが寺下さんとの交流を続けているそうです。

人生を素敵に生きる秘訣

寺下さんは、30 年の保育士生活を引退した後、ベビーマッサージ　インストラクター資格を取り、ベビーマッサージ教室「はっぴぃクローバー」を立ち上げました。その活動を通して、地域の子育て支援の核として、なくてはならない存在となりました。そして、たくさんのお母さんたちとつながり、感謝され、忙しい毎日を送っています。まさに、第二の人生のやりがいとともに、生涯現役を貫かれるのだと感じました。そんな寺下さんが発表の最後にくださったメッセージは、印象的でした。

「虐待やネグレクトが問題視されている昨今、元気そうに見えても、心にたくさんの問題を抱えるお母さんが、たくさんいます。私たちは、そうしたお母さんに寄り添い、サポートしてあげられる存在でいましょう。」

現役を引退した後も、これほど熱い「思い」と、「好奇心」そして「欲求」も持ち続けて、人生を歩まれている寺下さんに、「人生を素敵に生きる秘訣」を見せていただきました。

大阪会場

アタッチメント教室部門

記事の全文は、廣島大三のブログよりご覧いただけます。
https://www.naik.jp/blog/director/archives/362/7

植戸 真紀さん　スポーツクラブインストラクター（兵庫県）

取得資格

「8 年間のキャリアを通して生まれたリピート率 9 割の教室運営の秘訣とは？」

植戸さんは、大阪の加古川市で、スポーツセンターを舞台に、ベビーマッサージ教室や体操教室でインストラクターとして活動されています。

アタッチメント・ベビーマッサージ講座の大阪 1 期生として、資格を取得してから、これまで 8 年間（2016 年現在）にわたって、ベビーマッサージ教室を続けてこられています。当協会のインストラクターの中でも、もっとも長く続けてこられているおひとりです。もうすぐ 10 周年を迎えられる植戸さんの発表から、永く活動を続けてこられた秘訣を学ばせていただきたいと思います。

長期にわたる安定運営の秘密は、リピート率にあった

植戸さんの教室は、リピートの生徒さんで 7~9 割が占められており、残りの 1~3 割の枠を新規の生徒さんで埋めるというのが型になっているそうです。これは、理想形の一つと言えます。この型に持っていければ、クチコミで枠は埋まってくれますので、ほぼ新規集客のための施策は必要ありません。植戸さんが、8 年間も教室を安定的に続けてこられている秘訣のひとつは、7~9 割の安定したリピートにあると言ってよいでしょう。ただし、この理想形にたどり着くまでには、相当な努力と工夫があったことと思います。

9 割のリピートを生む「生徒募集の仕組み」とは！

まずは、技術的な部分です。植戸さんの教室は、月単位で申込を募るスタイルですが、その際に、継続の生徒さんを優先的に受け付けるというところです。継続で余った枠を新規募集するのです。これは、継続の方にとっては優先権ですので、確実にリピートできる安心感があります。逆に、新規の方は、運が良くないと入れないというプレミアム感が生まれます。最初にプレミアム感を感じて教室に入った人は、継続の際には、優先権を行使することでしょう。この仕組みも、長年やってきた中で最適化されて、今の形になったことと思います。

「場づくり」へのこだわりが、安定して高いリピートを生む

次に、リピート率が高い教室作りという観点です。これには、教室の内容や体験、過ごした時間に対する「満足度の高さ」が大きく関係します。私は、植戸さんの「場づくりの上手さ」と「オイルマッサージ」がこの「満足度の高さ」を支えていると感じました。

「場づくりの上手さ」に関しては、例えば、赤ちゃんは、いつも静かに寝ていてはくれません。動き回ることもあるし、泣いてしまうこともあります。そうした時に、「動いても大丈夫だよ！」「泣いちゃってもいいんだよ！」「ここで存分に泣いときな」とお母さんと赤ちゃんに OK を出してあげて対応してあげる。すると、それを見ている他のお母さんにとっても、安心感につながります。また、こうした OK 対応を受けると、お母さんはリラックスできるので、赤ちゃんも意外と落ち着くものです。そうして、「安心した場」が出来上がります。

「オイルを使ったマッサージ」が、より高い満足を生む理由

もう一つ注目したいのは、「オイルマッサージ」です。植戸さんは、オイルを使ってマッサージすることを強調しています。オイルを使うのと、使わないのとでは、子どもの気持ちよさが全く違うだけでなく、お母さんの気持ち良さも違う、と植戸さんは言います。そして、その気持ちよさは、より高い満足を生み、「また来たい！」という気持ちを生みます。私も植戸さんと同意見で、ベビーマッサージは、裸になってオイルでマッサージするところに、その素晴らしさが集約されていると思います。

アナログなモノ作りだからこそ深まる生徒との関係性

それだけではなく、「関係性を作る」ための物理的なアプローチもされています。一つは、手作り新聞です。ここには、植戸さん自身の近況をつづったりしています。それによって、生徒さんは、親近感を持ちます。植戸さんは、フェイスブックもツイッターもやっていないそうです。

しかし、実はこうした、アナログな新聞は、手間がかかる分だけより関係性を深めてくれます。また、イベントなどの際には、手作りのメダルを作って、子どもにあげるそうです。作るのは結構大変ですが、その分、心は伝わります。

こうしてみていくと、植戸さんの教室は、特別なことをしているわけではなく、当たり前のことを、丁寧に、思いを持ってやっていて、それが驚異的なリピート率と安定運営に繋がっていると言えるのではないでしょうか。

大阪会場

子育て支援部門

記事の全文は、廣島大三のブログよりご覧いただけます。
https://www.naik.jp/blog/director/archives/362/8

鎌田 怜那さん　臨床心理士（佐賀県）

取得資格

「臨床心理士から見た『アタッチメント・ベビーマッサージ』とは？」

鎌田さんは、当初「アタッチメント・ベビーマッサージ」と聞いて、「アタッチメント理論を前面に打ち出したベビーマッサージって、どれ程のものなの？」と懐疑的な印象だったそうです。そんな気持ちでホームページを読んでいくと「意外とちゃんとしてる」と思ったそうです。そして、ホームページを隅々まで読んで、そのまま受講を決めたそうです。実際に受講してみると、アタッチメントや発達心理の内容が本格的で、難しい内容が含まれていたにもかかわらず、講義が思っていた以上にわかりやすかったことに驚いたそうです。

私だから出来るベビーマッサージ教室のカタチ

インストラクター資格を取得した鎌田さんの「はじめの一歩」も、身近なものでした。最初は、一人のママ友に個人的にベビーマッサージを教え始めたのです。そうして、ベビーマッサージを続けていると、ママ友とベビーに良い変化が起こるのが感じられるようになりました。また、そのママ友の育児相談を聞いているうちに、ママに何が必要なのかもわかってきました。この気付きは、「ベビーとママのハッピータイムを提供したい！」という鎌田さんの原点となる思いにつながりました。臨床心理士としての自分だからこそできる子育て支援の方向性が見えてきた瞬間でした。

そこで、鎌田さんは、先ほどのママ友と一緒に、子育て支援のためのサークル「Mommy's Pockets ～マミポケ」を立ち上げました。同時に、臨床心理士として、乳児健診や保健センターの子育てサロンに呼ばれた際に、ベビーマッサージ教室を実施したり、保育園の研修に呼ばれた際には、子育て支援として、ベビーマッサージを提案したりして活動を拡げていきました。

「臨床心理士として出来ないことも、ベビマ教室では出来る！」とわかった日

最初は、「ママたちに伝えたい！」という思いで友人と始めた「マミポケ」の活動ですが、実際やってみると、様々なメリットと本業との相互補完が見えてきました。臨床心理士としての仕事の中では出来ないことが、「マミポケ」では出来る。「マミポケ」で扱うには、ヘビーな問題を抱えるお母さんに対しては、臨床心理士として対応できる。そんな相互補完の関係が、自然と出来てきたそうです。

背中にそっと手を当てて、話を聴いてあげたい時もある

例えば、臨床心理士をしている時、「ここはお母さんの背中にそっと手を当てて聴いてあげたい、あるいはハグしてあげたい」と感じることがあるそうです。しかし、臨床心理士は、クライエントの体に触れることをしないのが基本ため、これまでは、こうした場面で、それが出来ずもどかしく感じることがあったそうです。でも、マミポケの活動でなら、こうした対応もしてあげられます。

本当に深刻な状況のお母さんに、専門家の助けが届かない現実

あるいは、ベビマ教室を通して知り合ったお母さんで、虐待やネグレクトを想像させるようなケースでは、臨床心理相談の方に誘導することができます。心に問題を抱えて支援や救済が必要なお母さんほど、臨床心理士などの専門家のもとへは行きたがりません。この「必要な人に支援が届かない現実」は、業界が抱える大きな問題のひとつです。しかし、鎌田さんの場合、ベビマ教室の先生として知り合って、その人がたまたま（たまたまではないのですが）臨床心理士だった、ということで慣れ親しんだ人のところへ行くので、ハードルは各段に低くなります。

二つの顔を使い分けて生まれるシナジー効果

鎌田さんは、最近では、マミポケの顔と臨床心理士の顔を使い分けることを意識しているそうです。臨床心理士としての自分が、マミポケの顔を見せることによって、よりお母さんに寄り添った対応が可能になり、臨床心理士としての幅を拡げてくれます。マミポケでベビーマッサージ インストラクターをしている自分が、臨床心理士の顔を見せることによって、お母さんたちからの信頼は、圧倒的に増すだけでなく、頼りにもされるようになり、マミポケの評判は上がります。役割を使い分けることによって、より多様な対応が出来、より多くの人に支援の手を伸ばしてあげることができます。

専門性の高い仕事こそ、子育て支援と相性が良い

鎌田さんという一人の人が、臨床心理士という高度で専門的な立場と、ベビーマッサージの先生という身近で親しみやすい立場の両方を演ずることで、それぞれの立場の良いところを活用し、足りないところを補い合っています。結果として、臨床心理士の本業の質を高め、ベビマ教室という子育て支援も充実させているところが、非常に素晴らしい事例です。これは、「子育て支援の活動を本業にどう活かすか」という問いに対する一つの答えではないでしょうか。

2016 年 活動報告のご紹介

高砂 真希子さん

ベビーマッサージ インストラクター（神奈川県）

取得資格

「写真ダウンロードサービスは、大好評です」

児童家庭支援センターでのベビーマッサージ教室や、『ハッピースマイル☆ベビーマッサージ・サークル』という子育てサークルの活動を行っています。先日の子育てサークルでは、寝相アートとベビーマッサージを行いました。寝相アートは大好評で、寝相アート写真を撮りたくていらっしゃる方も多いです。また、最初に寝相アートをやると、初めましてでも会話がかなり弾み、自然と仲良くなれるところもメリットかなと思います。サークル開催後は、無料で写真がダウンロードできるサービスも提供していますが、とても好評です！

ハッピースマイル☆川崎ベビーマッサージ
http://ameblo.jp/mak-baby

木原 まりさん

柔道整復師・鍼灸師（徳島県）

取得資格

「『鍼治療』と『ベビマ・ヨガ』を相互に使ってママの悩みを解決」

小泉接骨院と、接骨院に併設しているリラクゼーションサロン「Afrose（あふろーぜ）」に勤務しています。不妊治療や妊娠中、出産後のお母さんとお子さんも多くいらっしゃるので、育児相談を受けることも多かったため、根拠を持って対応したいと思い、資格取得を決めました。基本的にはマンツーマンで行っていて、ベビーマッサージの場合は５回を１クールとして設定していますが、お母さんやお子さんの都合に合わせて回数を調整しています。お母さんの悩みに対応する手段として、接骨院での鍼治療とは別の手段との１つとして、ベビーマッサージやキッズマッサージ、ヨガを伝えています。

大山ありささん

子育て支援スタッフ・保育士（熊本県）

取得資格

「子育て支援センターで教えていたソーイングがベビマへと広がりました」

ソーイングなどの講師をしている子育て支援センターで、資格取得を機にベビーマッサージ教室もさせていただくようになりました。お母さん方からは、『気持ちにゆとりができた』『こんなにじっくり身体を触ってあげた事がなかった気がするからとても良かった』『すごく気持ちよさそうだったのでお家でもやってみます＾＾』などのお声をいただき、とても嬉しいです。今は不定期開催なのでこれからも公民館などを借りて定期的にしたり、また個別出張もしていきたいです。

あーちゃん♡はぴはぴ♡ベビマブログ
http://ameblo.jp/abm-a-chan/entry-12221664550.html

西島 聖美さん

ピアノ・リトミック講師（北海道）

取得資格

「5 人の子育て経験を活かしてママの悩みに寄り添います」

東京から北海道の道東にある浜中町へ 19 年前に結婚して来ました。小さな町なので少しでも子ども達が学べるようにとピアノとリトミック教室を開催しました。そして、この町で親子の子育てをサポートできればと思い、発達心理学を知っていると、より的確な育児アドバイスができるので、日本アタッチメント育児協会で資格を取得しました。現在は、知人の助産師と一緒に、親子の心と身体をケアすることを目的とした「親子のホッとタイム 温々〜ぬくぬく教室」を開催しています。

親子のアタッチメントを深めれば、子どもの気持ちが分かったり、子育てが楽しくなることをコンセプトにしています。4 才から 17 才までの 5 人の子育てをしていると、いつの時も子育てに悩みはつきものなので、気軽に話せたり、相談できる場が必要だと思います。育児セラピストの講座で学んだ対親力を生かしながら、心と体の育児サポートとして、親子の心と体に寄り添いながら共感し、お母さん方にリラックスしてもらい、今の私に出来ることを少しずつでも発信していきたいです。

親子のホッとタイム 「温々〜ぬくぬく教室」
http://ameblo.jp/egaomebae-music/

河内 宏美さん

ベビーマッサージ インストラクター（東京都）

取得資格

「親子カフェでのベビマ教室で子育ての悩み解決!! 」

自分自身が子育てに悩み、周りの方や様々な情報から多岐にわたり助けられた経験を活かして同じ境遇で悩んでいる方やママたちの交流の場を作りたいと思い、アタッチメントベビーマッサージ インストラクターの資格を取得し、支援センターや親子カフェにてベビーマッサージ教室を開催しています。支援センターでの開催は、資格取得以来、毎月開催しています。

中山 恵さん

NPO 法人保育サービスぽてと　民間学童クラブ施設長（東京都）

取得資格

「ママ達がほっとできる時間《ほっとステーション》を提供しています」

長年たくさんの親子と接する中で、今子育て中のママ達が育児に対する悩みやストレスがあることを日々感じています。そこで、子どもと少し離れて気持ちをリフレッシュする時間を提供できればと思い、学童児が帰ってくる前の時間を使って《ほっとステーション》という、「ママ達がほっとできる時間」を提供しています。ママ達に育児ストレスを少しでも減らしてもらえればと思い、その間、自分の時間を持ってもらったり、ベビーマッサージの講習で子ども達の向き合い方を話したりしています。

本郷 容子さん

子ども英会話教室主宰（群馬県）

取得資格

「英会話の先生がベビマを始めました」

産婦人科や自宅サロンでのベビーマッサージ教室に加えて、現在は子育てセミナーの開催もしています。集客はベビーマッサージ教室の常連様に来ていただいたり、1年前から始めたfacebookで呼びかけもしています。子育てセミナーでは英語と日本語の両方での絵本の読み聞かせをメインに行い、またお母さんに子育ての悩み事も言ってもらって、大きいお子さんがいるお母さんから、小さいお子さんがいるお母さんにアドバイスをもらったりもしています。また、セミナーに参加された赤ちゃん連れママさん方が自宅サロンでのベビーマッサージ教室にもお越しいただけることになり、こちらも嬉しい次第です。

ベビーマッサージ　アップル育児サロン
http://applebaby.hp-tsukurumon.jp/blog/

明田 瑠美さん

アロマテラピー＆マタニティヒーリング クラリクララ主宰（東京都）

取得資格

「ベビマで子育てサポート、アロマでママサポート」

外出が難しいお母さんや、人目を気にせず自分のペースでレッスンを受けたい方のために、ご自宅を訪問する出張ベビーマッサージレッスンを行っています。レッスンでは、その時その時の出来事を大切に、一緒に遊んだり食育のアドバイスをしたりなど、単にベビーマッサージを教えるだけでなく、ママと赤ちゃんのアタッチメントを育むための営みの大切さをお伝えしています。また、レッスン後は、だいたいの赤ちゃんが寝んねしますので、ママへ服を着たままできるアロマトリートメントを提供し、ママもリフレッシュしていただいています。お母さんが幸せだからこそ赤ちゃんも幸せ。今後もお母さんをとびきり笑顔にできるレッスンを展開していきたいと思います。

アロマテラピー＆マタニティヒーリング　クラリクララ
ホームページ http://lumi2016.wixsite.com/clarycurara
Facebook：https://www.facebook.com/clarycurara.aroma/

本郷 美保さん

看護師（福岡県）

取得資格

「ママ目線の集客で大人気のベビマ教室」

長崎県大村市や福岡県にて、ベビー＆キッズマッサージ教室を開催しています。長崎県の教室は3年目、福岡県での教室は1年が経過しました。集客方法としては、市の福祉協議会発行の子育て情報誌への掲載や、市の健診日にチラシの配布をしたり、ママ達に人気のパン屋さんを教えてもらい、チラシを置かせて頂いたりしています。赤ちゃんの時期はあっという間ですが、その中でベビーマッサージを通して出会える親子さまに感謝でいっぱいです。2017年2月に私も出産を控えているので、我が子とのベビーマッサージもこれからの楽しみのひとつです。これからもママの気持ちに寄り添って活動を継続して行きます！

ベビママサロンくまちゃん2
https://www.facebook.com/babymamakuma/

吉田 恵子さん

ベビーマッサージ インストラクター（愛知県）

取得資格

「パパやじいじこそベビーマッサージを知ってもらいたい」

公民館で「パパもジイジもにっこり育児」という市民講座を開催しています。初めは公民館で他の講座を受けていました。その時に顔見知りになった公民館の方にベビーマッサージをやれますよと気軽に話していたら数か月後に講師をしてもらえないかと依頼されるようになりました。講座は全5回で、ベビーマッサージ、アタッチメントジム、絵本の読み聞かせ、わらべうたの紹介、季節のクラフトなど盛りだくさんでやっています。ベビーマッサージをしているパパ達はとってもニコニコで素敵です。

緑川 美穂子さん

保育士（小規模認可保育所経営）（千葉県）

取得資格

「理想の保育所を立ち上げた園長先生の子育て支援のカタチ」

千葉県にある小規模認可保育所「Angel heart nursery」保育園内で、2ヶ月～あんよ前のお子さんを対象に全3回のベビーマッサージ教室を開催しています。告知は、市役所、保健センター、知り合いのコンビニにお願いしてチラシを貼ってもらっています。ベビーマッサージ中はお母さんたちにリラックスしてもらって、素敵な極上のふれあいタイムになるように、ひとつひとつ丁寧にお伝えしています。マッサージ終了後は、実家に戻って来たかのように、リラックスしていただきながら、子育て以外の旦那様との馴初めや、色々な思い（楽しいこと・不安なこと）などもお話しいただいています。また、園で栽培したハーブを使った、手作りのお茶やデザートも、ママ達にとても喜ばれています。そんなママ達の姿をみると、そこに費やした時間も無駄ではなかったと手間暇惜しまずにやって良かったと幸せいっぱいになります。ベビーマッサージは、マッサージする行為を通して、ママや赤ちゃんと心から共感して、肯定する関係づくりがよいのではないかと日本アタッチメント育児協会で学んだ深い部分を沢山のママの役に立てるように貢献していきたいと思います。

小規模認可保育所　Angel heart nursery
https://www.angel-chan.jp/

活動報告大募集！

インストラクター及び育児セラピストの皆様は普段、様々な活動やイベントをされているかと思いますが、事務局及び協会関係者は、皆様の活動をすべて把握する術がございません。そこで、当協会ではインストラクターの皆様が活動されている現場の活動報告を募集しております。

お寄せいただいた活動報告の中で、共有したい事例をホームページや会報誌等でご紹介させていただければと存じます。活動の様子の共有を通して、より多くの方の今後の活動のきっかけにさせていただきたいと思っておりますので、是非ご協力をお願いいたします。

応募方法　郵送またはメールにてご応募ください。形式は自由です。

応 募 先　（社）日本アタッチメント育児協会
郵送　：〒460-0022　愛知県名古屋市中区金山 2-15-14　パックス金山ビル 4F
メール：info@naik.jp

ランチミーティングの動画は、コチラよりご覧いただけます。
https://youtu.be/D29Xa6otvV8

ランチミーティング

もう定番となっている「3pm さんじ」さんのランチですが、今年ももちろん、東京、大阪共にご用意しました。「季節の色を食べる」というコンセプトで作られた、色とりどりのお料理は、その味付けから調理法、素材選びまで毎年驚かされます。オリーブオイルとオリーブの実をあしらったイタリア風おにぎりは、私のお気に入りです。安心で楽しくて美味しい料理を囲めば、会話も自然と盛り上がります。

グループワーク　「キャッチコピーで人を集めよう」

今年も、好評の「キャッチコピー作りワーク」を行いました。チラシや案内文を作るとき、意外と安直に決められてしまうのが、「表題」つまり、キャッチコピーです。でも、実は「キャッチコピーの良し悪しで、そのチラシを読んでもらえるかどうかが決まる！」ってご存知でしたか。「どんなキャッチコピーを、どんな字で表現して、どういう風に見せるか」ということは、チラシ作りの肝なのです。これさえ出来てしまえば、そのチラシは成功したようなものと言っても過言ではありません。

せっかく一生懸命作ったチラシなのだから、一人でも多くの人に読んでもらって、多くの人に来てもらいたいですよね。

「でも、目を引くキャッチコピーって、一体どんなものだろう？」と多くの方が思われるでしょう。「百聞は一見にしかず」、「習うより慣れろ」です。実際にグループでやってみましょう！

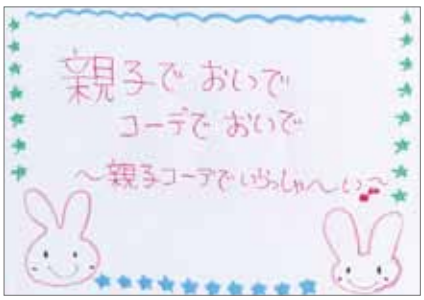
●東京会場

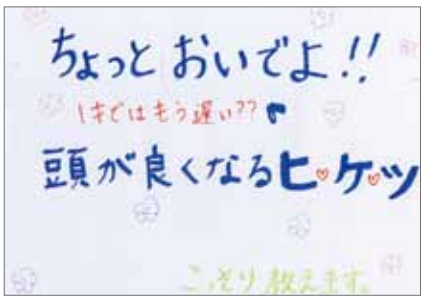
実際に参加者が考えたキャッチコピー＆キャッチフレーズ

- 笑って　動いて　楽しんで　エンジョイングリッシュ　みんなでアルファベットになっちゃおー！！
- 電車で GO ！！　トーマス Get だぜ〜！！
- たのしくおいしい　あいうえお！　親子で一緒に探しにいこう！おいしい『あ・い・う・え・お』
- 子育て変わる　ハピれんたいそう　はじめま〜す♪♪　〜 Happy の連鎖で笑顔がいっぱい〜
- 魔法で数字が好きになる！！
- 気づかぬうちに How are you ？　体で叫吸　表現あそび
  5 感で身につく　Red ♡ Apple ♡ Yummy
- うたってたのしく広げよう！ともだちの輪　ことばの輪
  おともだちのなまえカードで　あいうえお　をおぼえよう！
- 小学校に上がるまえに　6 才の今がチャンス！
  〜協調性を育む　こころとからだの運動遊び教室　詳しくは web で〜
- 1.2. サンタ★　我が子は天才！ お子さんの秘められた可能性を引きだそう！！

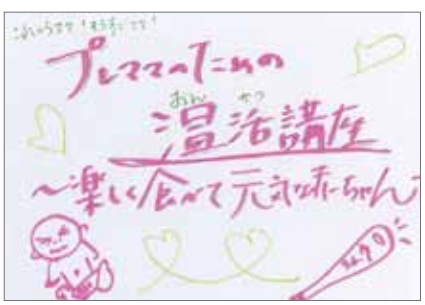
東京会場（淑徳大学）での集合写真

●大阪会場


親子でおいで
コーデでおいで
～親子コーデでいらっしゃーい～

あそぶの大好き!
イヤイヤがウキウキにかわる

ちょっとおいでよ!!
1才ではもう遅い??
頭が良くなるヒケツ
こそり教えます。

げきてき!!
ビフォーアフター
～キラキラパワフルマタニティー～
そのままの
あなたでいいんだよ

これからママもすぐママのための
"結"
アタッタメント
ヨガ

プレママのための
温活講座
～楽しく食べて元気ホルモン～

実際に参加者が考えたキャッチコピー＆キャッチフレーズ

- 親子でおいで　コーデでおいで　～親子コーデでいらっしゃ～い♪～
- イヤイヤがウキウキにかわる♡
- ちょっとおいでよ！！　1才ではもう遅い？？　頭がよくなるヒ♡ケ♡ツ　こっそり教えます。
- げきてき！！ビフォーアフター　～キラキラパワフルマタニティー～
  そのままのあなたでいいんだよ
- これからママ　もうすぐママのための“結”アタッチメントヨガ
- プレママのための温活講座　～楽しく食べて元気な赤ちゃん～

大阪会場（宝塚大学）での集合写真

参加者の声

今回もまた、皆さまのパワフルな活動に刺激され、自分自身を振り返るきっかけになりました。グループワークでは、楽しい時間を過ごせ、日ごろ使わない脳トレにもなりました。ありがとうございました。
（保育士　50代　京都府）

資格を生かして活動している方々の報告はとても刺激になります。今、自分の立場でできることを探していますが、前に進もうと思えるヒントがたくさんありました。
（看護師　30代　栃木県）

色々な方とお会いでき、お話ができて情報交換等ができ楽しかったです。
（パート　30代　大阪府）

知り合いや、一緒にやろうとしている仲間がいるわけでもないので、不安を持っての参加となりましたが、実践発表や公開教室を見て「やりたい！」という気持ちが強くなり、勇気をもらえた気がします。
（保育士　20代　埼玉県）

皆さんの発表、会話を通して、色々なヒントがたくさんあり、今後の活動の参考になりそうです。また、いい繋がりもできました！ありがとうございました。
（保育士　京都府）

どのように活動されているのか情報交換が出来たり、どんな所をポイントにおいて活動されているのか色々と勉強になりました。
（幼稚園教諭　40代　大阪府）

公開教室

公開教室の動画はアタッチメント・ライフ会員限定でご覧いただけます。
https://www.naik.jp/life/movie/demo_class/2016babyasb.php

昨年大好評だった公開教室を、今年は少し趣向を変えて行いました。今年は、ベビーとキッズにクラスを分けて、メソッドをまたいだプログラムを、各先生方が特別に作って披露してくれました。ベビーマッサージ、あそび発達、キッズマッサージ、アタッチメントジムの中から、年齢に合ったアクティビティをピックアップしたオリジナルプログラムです。もちろん、実際に親子に参加してもらっています。親子参加した方たちは、みなさん当協会のインストラクターです。インストラクター目線で親子参加される方、ダンナさんに、普段やっていることを見せる方など、親子参加された方にも有意義なものになったようです。また、昨年は、マタニティヨガに参加した妊婦さんが、今年は、赤ちゃん連れで、ベビークラスに参加して「この子があの時おなかの中にいた子なんですね」なんて感動的なことも起こりました。インストラクターのみなさんには、実際の教室を開くうえで、とても参考になると思います。

ベビー親子教室

0歳児(0~12か月)のベビーとママを対象に、ベビーマッサージ、あそび発達、アタッチメント・ジム、対話読み聞かせのメソッド取り入れたオリジナルプログラムです。東京は島田先生、大阪は権先生が担当しました。

島田 恭子先生

権 かおり先生

目と目を合せて「たかい、たか〜い」、ママもベビーもリラックス＆エンジョイ！（東京）

「これから、ベビーマッサージはじめるよ！」（東京）

「あそび発達」のアクティビティ。視界が変わることが、脳刺激！（大阪）

参加者の声

お母さんの緊張を、教室の時間の中でいかに自然にほぐしてあげるか、教室の中でお母さんの日頃の育児やこどもとのやり取りを認め、気持ちを晴れやかにして帰してあげるかなど、子どもはもちろん、お母さんへのフォローもとても勉強になりました！
（託児所運営　30代　愛知県）

「こうでなければならない」ではなく、子どもが今したいことを尊重し、無理なくリラックスした環境の中で行うことの大切さを実感しました。子ども達にとっても保護者にとっても有意義な時間になったと感じました。
（幼稚園教諭　30代　埼玉県）

キッズ親子教室

1・2・3歳児の子どもとママを対象に、キッズマッサージ、アタッチメント・ジム、あそび発達のメソッドを取り入れたオリジナルプログラムです。東京は早川先生、大阪は熊谷先生が担当しました。

早川 貴子先生

熊谷 れい子先生

お母さんといっしょに「急カーブ！」楽しいだけじゃなく、バランスを養います（大阪）

自分でお手てのマッサージ。気持ちイイ！（東京）

自己肯定感を育むアクティビティ「ママ出来たよ！」「スゴイねー」（大阪）

参加者の声

見学者の立場でしたが、楽しく参加させていただきました。教室のタイムテーブルの流れで、必要なものをそろえていらしたので、環境設定がきちんとされているなーと感心しながら、自らも改めることができました。

（民間学童施設長　東京都）

とってもわかりやすく、家で子どもたちにしてあげたい！と思いましたし、こんな風に、ママも学んだり楽しめるような教室を自分もできたらと、夢も広がりました。トラブルの配慮なども素晴らしかったです。

（主婦　30代　群馬県）

アタッチメント・ヨガ

マタニティを対象にしたプログラムを、参加者の方々に体験してもらいました。本当のマタニティの参加者もみえました。また、大阪では、妊娠経験のない参加者の方に妊婦スーツを着てもらって、体験してもらいました。担当は、東京、大阪ともに大塚先生です。

大塚 一恵先生

顔をほぐすと、心もほぐれてリラックス。首をほぐすと（喉のチャクラが開いて）コミュニケーションがスムーズに（東京）

「子宮の結びのポーズ」で、おなかの赤ちゃんと「つながる」（東京）

妊婦体験スーツを着用して、妊婦になったつもりで呼吸法。呼吸を感じ、呼吸に向き合うことで、自分に出会う（大阪）

「足首回し」や呼吸法で、リラックス＆むくみも減少（大阪）

参加者の声

マタニティモデルとして、アタッチメントヨガに参加しました。お腹の中の赤ちゃんを感じ、一心同体になれた感じがしました。

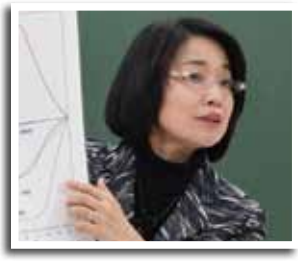
（看護師　30代　福岡県）

公開教室では、実際の雰囲気を体験することができてよかったです。ヨガ教室に参加してみて、体の疲れがとれたのがわかりました。ゆっくりすることの大事さを知っていたようで知らなかったのも分かりました。

（健康運動指導士　30代　山形県）

アタッチメント・食育

実際にお母さんに伝える「アタッチメント食育セミナー」として、参加者の方に受講いただきました。アタッチメント食育のテキスト制作に携わっていただいた権先生自ら、「親が知っておきたい食育」の観点で、今回のためにオリジナルプログラムを作ってくれました。担当は、東京、大阪ともに権先生ご本人です。



権 かおり先生

アタッチメント食育のテキスト制作にも携わった権先生（東京）

自分の教室で役立てようと、メモを取るのも真剣そのもの（東京）

「これはウチでもやってみよう！」お母さん向けだから実践的（大阪）

受講生全員がインストラクターだから、講師も力が入ります（大阪）

受講生の声

昨年も参加し、仲間ができ、収穫が大きかったので今年も参加しました。食育教室の、歯の分野は、復習になりました。おかあさんの心を癒し、リピーターさんにつなげるのは、お迎えする瞬間からはじまっているのだと感じました。
（看護師　40代　奈良県）

昨年も参加し、よかったので今年も参加しました。明日からの子育て支援センターでの仕事に活かしていきたいと思います。
（ベビーマッサージインストラクター　30代　兵庫県）

スキルアップ研修

プレスクール・あそび発達インストラクター養成講座

毎年、全国大会の前日の土曜日は、スキルアップ講座として、新しい講座のお披露目をしています。毎年、新コンテンツを真っ先に受講できるこの０期は、濃い方たちが集まります。トレーナーをはじめ、過去の優秀実践者の方やお付き合いの長い方々と、新しい方々が入り混じって、とても深い学びの場を形成します。今年も東京、大阪の両方で、素晴らしい場を作ることができました。

今年は、幼児教育の大本命である 3~6 歳の幼児教育メソッド「プレスクール・あそび発達」を０期としてリリースしました。もともと「あそび発達」は、『嘘のない本当の幼児教育を問い直したい』という思いから生まれた講座です。そして、その答えとしてたどり着いたのが「あそび」です。発達心理学者のウィニコットが言うように、「遊ぶことこそが普遍的」であり、幼児教育とは遊ぶことに他ならないのです。それこそが「本当の幼児教育」です。

出来るか出来ないか、早いか遅いか、次の段階へ、もっと高度に、と子どもをまくしたて、他の子どもと比較をしてしまう親や教育者は少なくありません。それが正しいやり方だと信じて・・・。すると、やがて遊びは、遊びでなくなり、子どもは、発達の機会を失うのです。

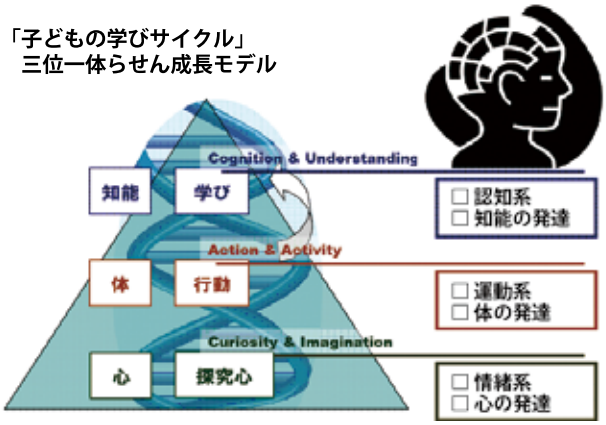
だからこそ「本当の幼児教育とは何か！」について向き合った幼児教育メソッドとして「あそび発達」を提供することに大きな意義を感じています。そのような思いをこめて、今回の０期講座の講師を務めさせていただきました。

まず、「あそび発達」の基本概念として、ウィニコットを学びました。ウィニコットは、遊びにおいて、子どもと母親の間に形成される「潜在空間」の重要性を説いています。それは、簡単に言えば（簡単に説明するには限界があることは承知の上で）、「二人の頭の中にのみ存在する独自の非現実的な場」ということになるでしょう。つまり、現実の遊び場や公園、玩具や教具といったものではなく、それを超えた想像の世界と、そこに生じる感情と体験そのものが「場」ということになります。それを、ウィニコットは遊びの本質と捉え、ゆえに母親（あるいは保育者、教育者）の存在が重要である、としています。

このことを前提に、話は脳科学へと移ります。脳の発達とは、何なのか、子どもの脳は、生まれてから、どのようにして発達するのか、ということを見ていきました。最初は、生きるために必要な脊髄から始まり、感情や運動系に関連する脳幹、そして高次精神機能をはじめとする高度な機能を司る前頭前野に関連する大脳と順番に発達していくという脳科学の基礎を学びました。

さらに、これを前提に、大脳生理学としての教育を考えました。確かに、高機能な脳を育てることは優秀な人を育てるかもしれません。しかし、人のパフォーマンスは、脳だけでは決まりません。脳を操るのは心です。心が健全でなければ、高機能な脳をうまく操ることは出来ません。また、健康な体がなければ、行動は制限されてしまいます。つまり、高いパフォーマンスを引き出すには、脳と体と心のすべてが重要なのだということを確認しました。そして、それは、「心」という土台が一番下にあり、その上に「体」、そして「脳」という順番でピラミッドを形成しており、それらの発達がらせん状に遂げられて成長するのです。ピアジェは、このことをシェマの同化と調節と呼んだのです。

「子どもの学びサイクル」
三位一体らせん成長モデル



さらに、話はIQの話に移ります。「IQは遺伝で決まるのか、環境で決まるのか」という問題です。これについても、両方の説が唱えられており、どちらも、もっともな研究発表がなされていますので、それぞれの立場の学説を検証していき、この講座におけるある結論を出しています。

さらに、話は、最新研究に移り、「そもそも高いIQが、人の幸せや、物事の達成を左右するわけではない」という核心に入っていきました。これからの幼児教育の世界では、高いIQを求めて努力することは、もはやナンセンスになるでしょう。笑い話と言っても良いかもしれません。ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマン博士の研究は、それを見事に示唆してくれています。彼は、ある教育プログラムを施したグループと、そうでないグループの40年間に及ぶ追跡調査を研究し、ある結論を示唆しました。5~6歳という幼児期における幼児教育への投資は、10年後の高等教育に、20年後の仕事や収入や健康にさえ良い結果をもたらし、それは、40年後も続くと結論付けました。そして、その幼児教育の内容として、ヘックマンが重視したのは、「非認知スキル」と呼ばれる非IQ系のスキルを育てることでした。IQをはじめとする「認知スキル」については、非認知スキルを育てる過程で、相乗的に伸びるものの、その優位性は4年以内に失われましたが、非認知スキルについては40年後も失われず、よき人生を作るファクターとなった、ということを学びました。

このことは、親も、保育者も、教育者も、直感的には了解していましたが、ヘックマンは、そのことを科学的に、そして長期の追跡研究で証明して見せてくれました。講座では、そのことの意味を確認しました。

こうして理論を学んでしまえば、メソッドの意味は、本質的な領域で伝わります。「遊びが遊びでなくなる」ようなマネはしない指導者になるためにも必要なことです。まず、メソッドに入る前に、「あそび」の定義の確認をしました。もともと「あそび」の語源は、「悠(ゆう)」から来ていて、「のんびりしている」とか「物事にゆとりがある」という意味があります。また、あそびの条件は「無目的で意味のない活動」です。たとえば、車のハンドルには、必ず「あそび」といって、ハンドルを動かしても曲がる動作に入らない「余白」があります。これがないと、運転は緊張に満ち溢れたものになってしまうので、乗用車のハンドルには、必ず「あそび」が設けられています。こうした「あそび」の定義を確認した上で、具体的にメソッドを学びました。

「プレスクール・あそび発達」では、ひらがなや数字、英語などのお勉強を「あそび(悠)」として楽しめる「あそび」を提案します。また、こうしたお勉強のような学力に関係する「認知スキル」を、感覚力・読解力・文章力・数字力・英語力の5科目にまとめ、それぞれを育むメソッドを学びました。

さらに、ヘックマンが重視した「非認知スキル」を、**やり抜く力(GRIT)・集中力(Concentration)・自己肯定感(Self-esteem)・協調力(Cooperation)・コミュニケーション力(Communication)**の5科目に

まとめ、それらを育てる「あそび」をメソッドとして学びました。特に、「非認知スキル」は、３～６歳のこの時期の遊びの中で活発に育まれるスキルで、大きくなってから身に付けるのは困難なスキルとして、近年重要視されています。さらに、この「非認知スキル」は、記憶に頼った頭の良さではなく、応用力や工夫、読解力、理解力といった根本的な頭の良さにつながる資質です。そのため、幼児教室だけでなく、子育て支援や、保育、看護の現場において非常に重要な要素となります。

「プレスクール・あそび発達」のメソッドは、J. ヘックマン博士が重視したのと同様に、非認知スキルを中心に据えています。非認知スキルを育む「あそび」に取り組むことで、認知スキルも養われる。スキルはスキルを育てるのです。そのため、一般的にお母さんたちが求める認知スキル系あるいはお勉強系のアクティビティよりも、非認知スキル系あるいは人格形成のためのアクティビティが重視されています。それは、「いま出来るようになること」「すぐに結果として見えてくること」に目を向けるのではなく、「10 年後の学業において花開くこと」、「15 年後の就職で結果が出ること」、「40 年後の人生の幸せに貢献すること」に目を向けています。そのために最も需要な時期こそが、幼児期なのです。

幼児期に「どう遊んだか」は、将来の幸せ度を左右します。でも、あまりに先の事なので、親たちはそれを実感できずに、「今できること」「すぐに表れる成果」に期待してしまいます。それは、親として当然の欲望です。でも、より大事なのは、「どう遊ぶか」であり、遊んだ先の結果として、様々なことができるようになるのです。決して「出来るようになること」が目的ではありません。むしろ「無目的にただ遊ぶ」ことを応援すること、その価値を親に伝えること、それが「あそび発達インストラクター」の役割である、ということを受講生全員で確認して、講座を終えました。

受講生の声

何かを教えるのではなく、無目的にという言葉がとても胸にひびきました。子どもの頭の中には、無条件に遊びの世界が広がっている、それを発達段階に応じて、引き出してあげるような対応をしていきたいし、お母さまたちにも伝えていきたいと思いました。

（自宅サロン経営　50 代　千葉県）

実際に講座を受講し、目の前の子どもがなぜそのような行動をとっているのか理解できました。親としての関わり方を知ることで、子どもと一緒にあそびを通して、楽しみを共有できそうです。周囲にも、どう関わっていったらいいのか悩むお母さん達に伝えていけたらと思います。

（看護師　30 代　福岡県）

今まで自分の子どもと接していて疑問だったことが分かり、嬉しかったです。今まで以上に子ども達とあそびの時間を共有するのが楽しみになりました。また、今日の学びをお母さん方へ伝えられるよう、自分自身も家で整理し、ぜひ伝えていきたいです。

（主婦　30 代　香川県）

子育てがいろいろと多様化し、問題を抱えている親子も多いので、しっかりとした知識を身につけ、的確なアドバイスもしていけたらと思います。

（保育士　40 代　千葉県）

非認知スキルについて詳しく知ることができて良かったです。長い人生、希望を持って、自己肯定感を持ち、生きていける土台を持った子どもたちを育てているのは、私たち大人だとしっかり自覚して子どもと関わり、過ごしていきたいと思います。

（看護師　50 代　神奈川県）

この『プレスクール・あそび発達 インストラクター養成講座』をさらに充実させて全国で開催いたします。詳細は当協会公式ホームページにてご案内しております。ご質問等ございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

（社）日本アタッチメント育児協会 事務局　TEL：052-265-6526（平日 9 時～ 18 時）　E メール：info@naik.jp

スタッフあとがき

伊藤 瑛美

今回、参加者の皆様にランチの時間にビデオカメラを回しながらのインタビューをさせていただき、ご参加いただいた感想を直接お伺いできて本当に良かったです。
皆様の今後のご活動の糧にしていただければという想いを込めての全国大会ですので、うれしいご感想はスタッフ一同大変励みになります。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
アンケートでいただいたお声も含めて、来年の開催の際の参考にさせていただきますので、次回の全国大会も楽しみにしていただければ幸いです。もし、今後やってほしい企画などありましたら、事務局まで教えていただければうれしく思います。

今井 香保理

今回も、皆さまの熱い想いに刺激されっぱなしの4日間でした。皆さまの「学ぶぞ！」という姿勢はイキイキとしていて、とてもキラキラして見えました。参加者の皆様は、地域も年齢も職業もバラバラですが、そういった皆様が同じ想いを持って集まると、こんなに素晴らしい空間が生まれるのだと、毎年感動します。私自身も、たくさんのパワーをもらえました！また、ずっとメールやお電話でやり取りをして、今回初めて顔を合わせてお話できた方など、たくさんの新しい出会いもありました！いつもご参加いただいている皆さまにも、最近のご活動についてお伺いでき、嬉しかったです。皆様のご活躍は、私どもスタッフの活力にもなります。今後も皆さまのご活躍、とても楽しみにしております！

松尾 彰俊

2016年度、新卒としてスタッフの一員となり、全国大会はもちろん初めての参加でした。
私は大阪会場のみの参加ではありましたが、優秀実践者発表や公開教室の撮影という重要な役割を担うことができて大変光栄に思います。
撮影の際は、初めての撮影ということもあり、不慣れな部分も多く、不安な部分もありましたが、皆様のモチベーションの高さ、溢れる熱意により、撮影素人の私ですが、大変素敵な映像を撮ることが出来ました、心よりお礼申し上げます。
先生方、並びに受講生の皆様、誠にありがとうございました。
来年の全国大会においても、熱意溢れる皆様にお会いできることを楽しみにしております。

太田 有香

今回はじめて、大阪会場でスタッフとして携わらせていただきました。
以前から報告書などで、ご参加される皆様の学びに対する姿勢や熱意は感じておりましたが、今回はそれを肌で感じることができました。
私は撮影スタッフとして各教室を回り、皆様の真剣な眼差しや、様々な思いをお話しされている場面をカメラに収めさせていただきました。講座などの邪魔にならないよう、教室の端から様子を拝見しておりましたが、皆様がとてもイキイキとされているので、わたくしも元気をいただけたように感じます。
スタッフとして至らない点もあったのではと思いますので、より一層皆様が心地よく、楽しく学べる場をご提供できるよう、縁の下の力持ちとして頑張っていきたいと思います。

中塩 奈奈

東京会場では司会をつとめさせていただきました。至らない点も多々あったかと存じますが、皆様にご協力いただき、無事に終えることができました。心より感謝いたしております。
ワークや公開教室、そして、ランチのお時間も皆様がご活動について熱くお話されているのを拝見し、皆様の真剣な想いを強く感じました。また、参加された方同士の輪の広がりも感じられ、スタッフとして更なる皆様のご活躍を楽しみにしております。私は今回はじめて全国大会に参加させていただきましたが、皆様の熱い想いに直接触れることができ、より一層身の引き締まる思いが致しました。次回の全国大会でも、皆様のご活動や想いに触れられることを楽しみしております。

日本アタッチメント育児協会　公式ブック

発売中！
全国の書店
amazon.jp

6歳までのアタッチメント育児
子どもを伸ばす　愛情の表し方・与え方8つのメソッド

廣島 大三（著）/ 合同出版（出版）

標準価格：1,400円（税別）

親子の「アタッチメント（＝愛着関係）」を育めば、子どもをもっと愛せる、子どもはもっとHappy！になる。親が親として成長し、ストレスがやりがいに変わる！心やさしく、知的好奇心にあふれた、頭の良い子どもが育つ！アタッチメント育児にLet's トライ！アタッチメント理論の基本概念から、親子の日常での営みの中でアタッチメントを育む具体的メソッドまで。

アタッチメント・ベビーマッサージ
～感性豊かで幸せな子どもに育つ～

廣島 大三（著）/ 寺下 謙三（監修）/ 保健同人社（出版）

標準価格：1,200円（税別）

赤ちゃんが生まれたら、ベビーマッサージを始めてみたい、と思っているお母さんは少なくありません。ベビーマッサージはオイルを使って、お母さんの手で赤ちゃんにマッサージをすることですが、大切なのは、お母さんと赤ちゃんの絆をしっかり結ぶことです。本書では、発達心理学の観点から、お母さんと赤ちゃんのアタッチメント（愛着関係）をしっかり作り、情緒豊かな「幸せな子ども」に育てるためのベビーマッサージを紹介します。

一般社団法人 日本アタッチメント育児協会の講座一覧

保育士や看護師、子育て支援施設など、育児にかかわる仕事に就業している方たちを主な対象として、
下記のような講座を企画・運営しています。

アタッチメントを伝えるための講座

アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター

ベビーマッサージ本来の効果である、『アタッチメントの形成』を重要視し、発達心理学をベビーマッサージに応用して、メソッド化した、【ABM アタッチメント・ベビーマッサージ】。お母さんが、生まれたばかりの赤ちゃんと、心を通じあわせるためのアタッチメント・ベビーマッサージを伝えていく、協会認定のインストラクターを養成します。

アタッチメント・ヨガ インストラクター

妊婦さんとおなかの赤ちゃんが、ヨガを通して妊娠期からアタッチメントを育むことにより、マタニティブルーや産後うつなどが軽減され、良好な母子関係が育まれるマタニティ＆ベビーヨガです。メソッドは、Studio＋Lotus8 監修のもと、呼吸法をメインとした体に負担をかけないポーズで構成され、妊婦さんが、安心して取り組めます。この講座では、ヨガを心理学の観点から学び、豊かな母子関係を育むことを導くヨガインストラクターを育成します。

アタッチメント・食育 インストラクター

「食べる」ことと、「人間成長（心理学）」は、直接につながっています。そこで、『「食育」＋「心理学」＝アタッチメント食育』を掲げ、子育てをする親に伝えるべき「子どもの成長、発達のための食育」を、心理学的バックグラウンドのもとに学びます。「心理学」、「栄養学」、「歯学」という食を支える３つの要素を通して、「食の舞台」で子どもをどう育てるとよいのかを、親に伝えるための専門知識とスキルを学んだ食育インストラクターを養成します。

ベビーキッズ・あそび発達 インストラクター

子どもの発達とイコールの関係にある「あそび」。乳幼児期、児童期の「あそび」は、子育てそのものであり、教育そのものです。この時期に「あそび」によって育まれた資質は、知的好奇心や応用力、問題解決力、論理構築力といった将来の学習能力の土台となります。単なる訓練的な幼児教育ではなく、そうした子どもにとって「本質的なあそび」を、発達段階に合わせて体験させるための幼児教育としての「あそび」を導くインストラクターを養成します。

プレスクール・あそび発達 インストラクター

「プレスクール・あそび発達」は、３～６歳という幼児教育のメインとなる年齢の子どもにとって「本当に必要な幼児教育」として、IQや勉強科目の習得といった「認知スキル」だけでなく、むしろ忍耐力、自制心、やり抜く力といった「非認知スキル」を豊かに育て、目先の結果ではなく、10年後の学力、人間性の向上と、その先の自立した大人、社会で活躍できる人材への道を開くための幼児教育を提供します。

日本アタッチメント育児協会 トレーナー

講師や講演家として「教える」スキルを専門的かつ実践的に学び、これまでに修得してきた知識とスキルを伝える、後進の育成についても活かせる資格です。

発達心理学に基づく 育児の専門家になるための講座

育児セラピスト 前期課程（2 級）

育児や保育の実践者として、発達心理学やアタッチメント理論の基礎を学び、明日からの育児に活かす実践的な知識とスキルを身に付けます。また、セラピーにおける「心の癒し」の基本を体験的に学ぶことが出来ます。また、この資格は、「育児の専門家」として、親を教え導く「育児セラピスト 後期課程（1 級）」資格取得のための基礎資格となっています。

育児セラピスト 後期課程（1 級）

育児セラピスト後期課程（1 級）は、前期課程（2 級）で身に付けた実践的知識やスキル、体験について、学術的根拠と裏づけを、専門的に学びます。また、「育児の専門家」として、専門性を持った活動をしていくための知識とスキルと方法論を身に付けます。

育児セラピスト シニアマスター

育児セラピスト最高位の資格であり、「育児の専門家」として、子どもだけでなく、親やスタッフ、同僚などの大人に対してもコミットしていけるだけの高度に専門的な知識やスキルを幅広く修めます。そのために、子どもの発達だけでなく、思春期の青年から、成人した大人、中年期、老年期の大人までの「生涯発達」を学びます。さらに、人間関係を円滑にするスキルや、コミュニケーションを高めるスキルにおいて、さらに高度に学ぶことが出来ます。この資格は、保育、看護、育児支援施設など、育児支援に携わる分野における指導的立場の方のための、スタッフマネジメントにおけるスキルアップ資格でもあります。

ワンランク上の知識とスキルを 身につけるためのスキルアップ講座

アタッチメント・キッズマッサージ インストラクター

ABM アタッチメント・ベビーマッサージインストラクターの上級資格であり、ベビーマッサージを卒業した１歳から、６歳までの子どもとお母さんが取り組める営みとしてキッズマッサージを教える資格です。講座では、つぼを中心とした症例別のマッサージを学んでいただきます。また体と心が少しずつ成長していくキッズのための特別なアタッチメント・マッサージもご紹介します。

アタッチメント・ジム インストラクター

０歳～６歳の子どもと親が取り組む、アタッチメントを育む、発達段階に応じた親子体操を教える資格です。運動科学におけるキッズ体操と心理学におけるアタッチメント理論を結び付けて体系化した親子体操（アタッチメント・ジム）を学んでいただきます。

活動をさらに広げるための 1DAY セミナー

- 教室運営力アップセミナー
- 心を癒すコミュニケーション術セミナー

（社）日本アタッチメント育児協会
認定養成校のご紹介

◆

（社）日本アタッチメント育児協会は、大学をはじめとする教育機関を「認定養成校」として認定し、大学カリキュラムとして講座コンテンツを提供し、各学内において、アタッチメント・ベビーマッサージ、アタッチメント・ヨガをはじめとする各種インストラクターや、育児セラピストの養成を行っています。

現在は、淑徳大学短期大学部 こども学科と、宝塚大学 看護学部助産学専攻科の２校が認定養成校になっており、それぞれの大学の学生は、卒業時（指定単位取得の上）に、保育士資格や助産師資格と併せて、アタッチメント・ベビーマッサージ、アタッチメント・ヨガ インストラクター資格や育児セラピスト１級資格を取得します。

淑徳大学短期大学部 こども学科

導入資格

「アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター」
「育児セラピスト１級」

保育士、幼稚園教諭を養成する子ども学科にて導入。カリキュラムにおいては、「育児学」を、２単位の選択必修科目として新たに設定し、両資格の専門コンテンツを教授します。
そして「育児学」を含む、指定科目の単位を修得した学生は、卒業時に保育士資格と共に、当協会認定の上記資格を取得します。

宝塚大学 看護学部助産学専攻科

導入資格

「アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター」
「アタッチメント・ヨガ インストラクター」
「育児セラピスト２級」

同大学　看護学部に平成 26 年４月に新たに開設された助産学専攻科で導入。カリキュラムには、「アタッチメント・ベビーマッサージ」と「アタッチメント・ヨガ」を各２単位、計４単位の選択科目として新たに追加しています。これらの単位を修得した学生は、卒業時に助産師資格と共に、当協会認定の上記資格を取得します。

大学での認定養成校は、卒業する学生の就職に、有利な資格を与える機会を作るだけでなく、大学として、より現場に貢献できる学生を、社会に送り出すことにもつながっており、さらに、そうした資格が学内のカリキュラムで取得できる大学として、入学希望者の増加にもつながっています。

当協会は、今後も教育機関と連携を取り、こうした養成校の認定を、他の地方でも進める所存です。

淑徳大学短期大学部は、人を支えたい、社会を支えたいと願うあなたのための学びの場です。
人の幸せとは何か、より良い社会とは何かを考え、人と社会を支える力を身につけていきます。
自らを耕し、学び続ける姿勢。
幅広く社会を考えることもできる視野の広さ。
そして他人を思いやれる心。
この3つの力が、あなたと未来をつなぐ絆になります。

「ABMアタッチメント・ベビーマッサージインストラクター」「育児セラピスト」（社）日本アタッチメント育児協会認定養成校

淑徳大学短期大学部
Shukutoku University Junior College

- **こども学科**（保育士、幼稚園教諭養成）
- **健康福祉学科**
  社会福祉コース（社会福祉士、介護職員初任者研修養成）
  介護福祉コース（介護福祉士養成）
  医療事務・秘書コース（医療事務従事者養成）

Information
〒174-0063 東京都板橋区前野町 2-29-3　Tel 03-3966-7637（東京アドミッションセンター）　http://www.jc.shukutoku.ac.jp/

確かな助産技術と豊かな人間性を育む

宝塚大学
看護学部・助産学専攻科

【お問い合わせ先】入試課
0120-580-007

本専攻科は（社）日本アタッチメント育児協会より養成校としての認定を受けています。

大阪梅田キャンパス

- Ⓐ 阪急「梅田」駅 茶屋町口より徒歩約5分
- Ⓑ JR「大阪」駅より 徒歩約10分
- Ⓒ 地下鉄「梅田」駅より 徒歩約10分
- Ⓓ 地下鉄「中津」駅より 徒歩約5分

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目13番16号

監修・発行：一般社団法人 日本アタッチメント育児協会

URL ： https://www.naik.jp　　E-mail：info@naik.jp
〒460-0022　愛知県名古屋市中区金山 2-15-14 パックス金山 4F
TEL：052-265-6526　　FAX：052-265-6529

・2017 年 2 月 26 日　第 1 刷発行